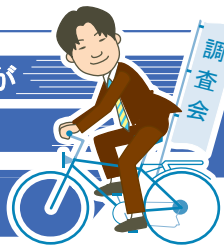


数字で見る経済

スーパーリサーチャー「イノっち」が
大阪市24区を斬る



井上智之(いのうえ さとし)

1970年生まれA型。某シンクタンクで関西の産業振興に関する調査をしていたが、縁あって大阪都市経済調査会へ。俯瞰的な分析を徹底するクールさと「いつかは独立したい」というアツい野心を併せ持つが、泥酔すると昭和歌謡で突然踊り出す奇怪な一面も。

その4 ▶ 此花区 ものづくりから集客へ 産業構造変化が最も大きい区

今回は大阪市此花区を訪問してきました。同区西部(臨海部)は古くからの工業地帯であり、大阪ガス、住友化学工業、住友金属工業、住友電気工業など、大規模工場が多く立地し、我が国の経済発展に貢献してきました。同区の1工場あたり従業者数は大阪市24区中で最も多く、過去20年間その地位は変わっていませんので、今なお大規模工場が重要な地位を占めています(表1)。ただ、この間に工場用地(敷地面積)は24区中で最も減少しました(表1:約97ha)。工場の跡地利用の主なものとして、2001年3月、住友金属工業の工場跡地(約54ha)にユニバーサルスタジオ・ジャパン(以下、USJ)が開業しました。それにともない、USJがある桜島2丁目では、開業前と比較して、サービス業従業者数が5752人増えました(1996年 368人→2001年 6120人)。第二次産業(製造業を含む)から第三次産業(サービス業を含む)への産業構造転換は全国的に見られる動きですが、此花区では特にその動きが顕著に表れていますので詳しく見てみましょう。表2を見ると、此花区では過去20年間に、第二次産業従業者数の割合が大阪市24区の中で最も大きく低下し(-20.6%ポイント:51.9%→

31.3%)、第三次産業従業者数の割合が最も大きく伸びたことがわかります(+20.7%ポイント:48.0%→68.7%)。つまり、第二次産業から第三次産業への構造転換が最も進んだ区であると言えます。もう少し細かく見ると、第二次産業の中では製造業の低下が大きく(-15.6%ポイント:38.8%→23.2%)、第三次産業の中ではサービス業の伸びが大きくなっています(+17.3%ポイント:13.0%→30.3%)。サービス業の伸びについては、毎年大勢の人々を集めているUSJの影響が大きいため、ものづくり産業から集客産業への転換が最も進んだ区と言っても過言ではないでしょう。また、此花区には、USJのほかにも大勢の人々を集めている施設などがあります。舞洲には、宿泊施設や各種スポーツ施設が整備された舞洲スポーツアイランドや、環境保護建築でも有名なオーストリア・ウィーンの芸術家故フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏に外観のデザインを依頼した大阪市環境事業局の舞洲工場があります。ここは見学設備が整備されており、待ち行列ができるほど人気を集めています。冒頭でも述べましたが、此花区には現在も大規模工場が立地し

ていますし、すでに閉鎖された工場跡地がすべて有効活用されているとは限りませんので、今後もUSJのように(USJ級の集客施設がもう一つやって来るとは思いませんが…)、大規模な土地利用転換が行われ、産業構造が変化する可能性があります。こうした工場跡地の活用が大阪再生のカギを握っているのかもしれない。また、同区では夢洲の埋め立てにより土地が増加傾向にありますので、それに伴う産業構造変化も起きてくるでしょう。

【表2】従業者数の割合で見た産業構造変化が大きい区 トップ10

	1981～2001年の従業者数の割合変化(%ポイント)			
	第二次産業	製造業	第三次産業	サービス業
①此花区	-20.6*	-15.6*	20.7*	17.3*
②住之江区	-16.8*	-13.9*	16.9*	7.3*
③都島区	-16.5*	-13.4*	16.5*	12.6*
④旭区	-13.1*	-13.3*	13.2*	9.8*
⑤大正区	-12.6*	-14.9*	12.6*	9.3*
⑥鶴見区	-12.5*	-13.7*	12.5*	8.4*
⑦城東区	-11.6*	-12.6*	11.6*	7.7*
⑧西淀川区	-11.2*	-12.4*	11.2*	6.2*
⑨生野区	-11.0*	-11.2*	11.0*	8.4*
⑩淀川区	-10.7	-9.2	10.7	14.7

資料:大阪市計画調整局「統計時報」より作成

注1:第二次産業には、鉱業、建設業、製造業を含む

注2:第三次産業には、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、金融・保険業、不動産業、サービス業、公務を含む

【表1】1工場あたりの従業者数が多い区 トップ5

区名	全工場				従業者30人以上の工場				
	1工場あたり従業者数(人)		工場数		従業者数(人)		敷地面積(100㎡)		
	1983年	2003年	1983年	2003年	1983年	2003年	1983年	2003年	変化
此花区	①35.8	①25.0	428	251	15315	6279	22184	12461	-9723
住之江区	②18.4	③18.5	647	354	11922	6549	11449	4890	-6559
西淀川区	③18.0	④15.0	1666	952	29912	14283	23235	16415	-6820
東淀川区	④17.9	②20.8	836	364	14975	7577	5091	3188	-1902
大正区	⑤16.6	⑥12.1	828	508	13746	6146	18546	13209	-5337

資料:大阪市計画調整局「統計時報」より作成 注:1工場あたり従業者数(人)の○中の数値は24区中の順位

大阪産業創造館までの時間距離

此花区役所からの所要時間

※実際に計測。地下鉄・JR・阪神電鉄利用。
電車の待ち時間を含む。

▶ 約45分